

盛岡中央高等学校創立 57 周年を迎えて

盛岡中央高等学校
校長 千葉 研二

本校は9月17日の開校記念日をもって創立57周年を迎えます。

本校は昭和38年4月、初代校長龍澤福美先生が「独立進取」「研鑽努力」を建学の精神とし、盛岡市高松に龍澤高等学校として創立されました。翌39年には観武ヶ原に校舎を移し、以後着実に歴史を刻み、この度創立57周年を迎えるに至りました。

この間、その時々時代の要請に応え、昭和44年には自動車科を、平成3年には情報処理科を設置するなどの変遷をたどりました。また、平成元年以来三度に亘る校舎の増改築により教育環境を一新するとともに、平成4年には一層の発展を期して校名を盛岡中央高等学校と改めました。そして平成16年4月には単位制（通信制課程）を設置、さらに、平成30年4月には附属中学校を開設し、中高一貫6ヶ年教育をスタート、絶えず先進的な学校教育に取り組んで参りました。

近年は、グローバル人材育成にも注力し、海外修学旅行や短期・長期の留学研修の実施をはじめ、姉妹校交流のビッグイベントとして平成11年以来毎年「CHUO国際教育フォーラム」を開催するなど、全国的にも特色ある学校として注目されています。昨年は21回目を数え、15の国と地域から19校77名を招いて盛大に行われました。本年は、残念ながら新型コロナウイルスの世界的蔓延により中止としましたが、これまでの姉妹校との交流実績を活かしてICTを利用したオンライン交流を計画しているところです。

このほか、文部科学省のグローバルリーダーを育成するスーパーグローバルハイスクール（SGH）のアソシエイト校（協力校）として本校は本年度で5年目を迎え、国際化に対応した質の高いカリキュラムを実践して国際理解教育を推進しており、2008年にはユネスコスクールにも加盟しています。

一方、これまで様々な学校改革を積極的に行ってきた結果、東京大学をはじめ難関国公立大学などに多数の合格実績を上げることとなり、『県内有数の進学校』として高い評価をいただいています。今春の進学においても、東北大、北大、筑波大、早稲田大、慶応大などの難関大学をはじめとし、国公立大に98名、私立大293名、海外進学5名と素晴らしい実績を残すことができました。

また、部活動においても、柔道部男女、男子ソフトボール、ゴルフ、スキー部の全国大会出場、硬式野球部、サッカー部など大いに成果を上げております。特に3年生の伊藤ふたばさんはボルダリングW杯にも出場し世界で活躍しています。

さらに、開校以来、1万2千5百名を越す卒業生を輩出し、堅実な校風の下、広い視野と豊かな教養を身につけた有為な人材は、県内外に於いて幅広い分野で大いに活躍しています。

この9月17日の開校記念日を契機に、その建学の精神を受け継ぎ、急速な時代の変化に柔軟に対応し、さらなる発展に向け努力して行くことを生徒、教職員共に誓い合いたいと思います。

令和2年9月17日